

みえDOYU

2011年度 テーマ

激動を良き友に、自社の新たな形を創造しよう!

～あなたの会社の強みはなんですか?～

VOL 318 2011. 5. 1

広報責任者 水谷彰宏

〒510-0066

四日市市南浜田町 2-14

水谷ビル3F

TEL 059(351)3310

FAX 059(351)9362

<http://www.mie.doyu.jp/>

E-mail mie-doyu@eos.ocn.ne.jp

変化の一步から、自社の新たな形の創造へ

～存分に語り合い、楽しく活力の出た定時総会～



(服部氏)

4月22日に湯の山絵野温泉『希望荘』で第29回定時総会を行いました。今回の総会は『次の時代に向けた変化の一步を踏み出そう!』をテーマに、この一年取り組んできた総まとめの総会として、存分に自社の経営を語り合うことを目的

に、初めて一泊で開催致しました。また東日本大震災による影響もある中、全会員の25パーセント強にあたる126人の会員が参加しました。

成川事務局長より22年度の活動の特徴として、自社の経営を語る活動を軸に謙虚な学び合いのもと、新たなビジネスモデルづくりをはじめ新商品・新サービスの開発展開など新しい変化の一步を踏み出す取組が各社で大いに進められたことが報告されました。

そして服部代表理事からは平成23年度の活動方針として「自ら変化を起こし、激動の波によって前進し、自社の新しい形を創造すること」を呼びかけました。また今年度のメインテーマ「激動を良き友に、自社の新たな形を創造しよう!～あなたの会社の強みはなんですか?～」は、22年度活動及び決算報告、23年度活動基本方針・予算案並びに23年度の理事・会計監査の皆さんの承認と合わせて、満場の拍手で採択されました。

激動を勝ち抜く経営者を目指し、参加者全員で熱い討論

第2部では、『大震災を受け、いま経営者はどう対応するべきか』をテーマにパネルディスカッションを行いました。パネリストには今回の会場となった(株)希望荘の山本春三社長と(株)サノプランニングの佐野貴信社長をお招きし、(株)高橋総合経営の高橋義弘社長にコーディネーターを務めていただき、その後参加者でグループ討論を行いました。

パネルディスカッションでは、山本社長から団塊世代の第2定年をターゲットとし、地元地域との連携を学校区域で交流実践されている希望荘の取組が報告されました。また佐野社長からは四日市駅を中心としたドミナント経営の展開とその強みを活かした取組が報告されました。また今回共通した課題として、人財育成が挙げられ、仕事のスキルだけでなく道徳教育に重点を置かれていることが紹介されました。そして最後にそれぞれの取組や報告を受けて、コーディネーターの高橋社長は、震災をはじめ予期せぬ出来事が起こる中での経営者の意識や生き方について、『常に前向きでプラス思考で自らを奮い立たせること』とし、そして激動を乗り切っていくためには、社員をはじめ自分の周囲にいる人たちの『人財』が重要なポイントであるとまとめられました。

(裏面に続く)

その後のバズセッションでは、山本社長と佐野社長の報告をはじめ、『この激動の時代を勝ち抜いていく経営者の姿とは』をテーマに意見を出し合い、また自らを省みた上での今後の課題などを参加者全員が熱く語り合いました。

第3部の記念パーティーでは、グループ討論の熱気そのままに座敷でひざを突き合わせながら語り合い、この1年間の活動の余韻に浸りながら新たな決意を胸に抱いて幕を閉じました。

総会には多くの関係各所より祝電・メッセージを頂きました。改めて紙面をお借りして御礼申し上げます。

第29回定時総会に参加して



(山本氏)

製造業である弊社とは異なる業界でご活躍される山本社長と佐野社長の“地域経営”から、何か経営のヒントが得られると期待して、記念講演に参加させていただきました。パネルディス

カッション形式で緊張気味の講演スタートでしたが、1時間半以内のバス送迎エリアを商圏として地元と連携して地域活性化をはかる山本社長と、ドミナント戦略による10店舗を運営しながら社長養成塾で次の経営者を育てる佐野社長。両社長の共通点は、社員が持てる力を十分に発揮できるように自ら社員を育てあげる経営者としての謙虚な姿勢にあると強く感じました。



(佐野氏)

さらに、社員が数字に強くなる仕組みや、常に相手のことを考えて行動できるような道德教育の必要性、部下に直ぐに答えを与えずに自ら考えて行動させるなど、多岐に話題が広がる中で、改めて企業の盛衰は経営者の熱意で決まると感じると同時に、自分自身が経営者として実践すべきこ

とが無数にあると気付かされました。

記念講演後のバズセッションも、初対面の他支部の方々と遠慮のない意見交換ができ、宿泊を兼ねた総会であったので、懇親会も時間を気にすることなく普段は話す機会もない多くの会員の方々と様々な情報交換ができて大変充実した時間を過ごせました。そして、この激動の時代において、自社の強みは自ら創り出すもので、過去にこだわらずに、自ら踏み出す新たな一歩が、時代を乗り越える一歩になると勇気づけられた定時総会になりました。

大藤(株) 山路真範



(高橋氏)

支部例会だより

南勢支部4月例会

テーマ

『企業提携による商品開発から販売まで』

報告者：南川 勤氏

ミナミ産業(株) 代表取締役



(南川氏)

「企業提携による商品開発から販売まで」について、ミナミ産業(株)の南川さんに講演をしていただきました。前半はミナミ産業としての企業としての取り組みや、南川さん自身の経緯、後半は萬来鍋の製作のお話、そして販売に至るまでを映像を交えながらお話いただきました。

萬来鍋は元々はスーパーで作りたてを売る為に作られました。しかし、飲食店・旅館などでも使えるよう考えだされたのが、地元の窯元と試行錯誤を繰り返し作られた今の萬古焼きの形だそうです。他にも産業廃棄物として処理をされるおからが出ない豆腐など色々と開発をなされています。

ただ、お話を聞いていく内に「萬来鍋」お

からの出ない豆腐」, どちらも豆腐の市場として豆腐を作っている個人商店を切り捨てるものでは無いと実感しました。

機械メーカーでありながら、豆腐を買わなくても手軽に豆腐を作れるようにする。相反するように見えますが、時代の変化を見て限り正しいように思います。今まで通り、普通に物を作って普通に売って縮小するだけの市場です。その中で南川さんは新しい可能性を示してくれているように思います。「ニッチでもいいからトップになる！」

南川さんのお言葉ですが、トップになるにはその分野のプロである必要があります。プ

ロにいるからこそプロと組み、一流の商品・アイデアが生まれてくるのでしょうか。

最後に食用大豆は大豆全体の使用量ですとわずか一部、つまりニッチ市場です。ですが今、大豆は急速に見直されています。時代が変化していくと、このニッチ市場がもしかしたら大きな市場になっているかもしれません。

変わっていくのを見ているか、変わっていく流れに乗ってみるか、または誰かと一緒にその流れに乗れる船を作ってみるのもいいかもしれません。

南勢糧穀(株) 清水伸顕

『復活!! 会員訪問日記』

～ 2 輪人気向上のために～

今回訪問させていただいたのは、桑名支部のサンビシモーターズ株式会社です。桑名市内で2輪、4輪の販売等を行なっている会社ですが、今年の1月にいなべ市にあるモトクロス場を買い取り、“いなべモータースポーツランド”の運営も始めました。今回はこのモトクロス場へ訪問させていただきました。

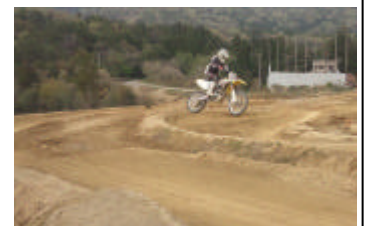
モトクロス場に着くと、ちょうど岡田社長がヘルメットをかぶり泥まみれになってコース改修の指示を出されているところでした。そして、そのままコース内の案内をしていただきました。高低差約50Mのコースは、最終コーナーを過ぎたところにジャンプ台があります。なんと上手な選手は25M以上ジャンプするようです。ちょうど練習をしていた選手がみえたのですが、起伏の激しいデコボココースを、砂煙をあげて走り去っていく姿は非常に迫力のあるものでした。なんと大会では数十台のバイクが一気に走り出すそうです。実はこのモトクロス場を買い取った時は、コース外には草が生え、あまり手入れがされていなかったようです。岡田社長は最初草刈りから始め、元国際A級ドライバー監修のもとコースを改修し、走っている姿が見られるように高台も作られました。選手だけではなく、観客にも楽しんでもらえるような

コース作りをされているのです。つい先日東日本大震災の被災地を支援しようとチャリティイベントを行なったのですが、400人ものお客様がレースを見に来たそうです。

小学生から大人まで多くのファンがいて、世界に誇る2輪メーカーが4社もあるにも関わらず、2輪人気はどんどん下がっていています。2輪販売店の岡田社長が、油にまみれず泥にまみれてまでもモトクロス場を運営し始めたのは、モトクロスを通じて2輪人気を少しでも上げたいとの思いがあったからだそうです。つまりお客様のために“いなべモータースポーツランド”を運営し始めたということとなります。しかし岡田社長のお客様への思いは、人と人の繋がりを生み、近々新しいビジネスを生み出すことになるようです。自らが一歩踏み出すことでまた新たな一歩を踏み出す機会が生まれるとは非常にすばらしいことだと思います。

最後となりましたが、次回大会が開催されるのは、6月5日中部モトクロス選手権第6戦となります。数十台のバイクが競い合う姿を見に行かれてはどうでしょうか。また同友会メンバーであれば無料で試乗させていただけるとのことなので、是非ご興味のある方は足を運んでみてはどうでしょうか。

(事務局 金澤)



研修会のご案内

共同事業創造委員会（ビタミンみえ）

『健康住宅』から『健康増進住宅』へ

普段私たちが何気なく過ごしている住宅。多くの方は1日の3分の1以上は住宅内にいるのではないのでしょうか。

今回の講演は、住居が変われば病気が減る？寿命が延びる？普段過ごす事が多い住宅だからこそ知っておきたい住宅と健康増進について、近畿大学の岩前教授に講演いただきます。

日時：5月17日（火）

18：30～20：00

会場：同友会事務局4F会議室

参加費：三重県中小企業家同友会会員及び

会員企業従業員は 無料

会員外も建設関連業者のみ

2,000円（建設業以外の方は無料です）

講師：岩前 篤氏

近畿大学理工学部建築学科 教授

参加のお申込は同友会事務局までご連絡下さい。

同友コラム

『今年の夏の電力不足を乗り切るために、エアコンの設定温度を三十度にしよう！』

設定温度が三十度という事は、三十度を挟んで温度が上下します。三十度を超えた時、書類は肌に貼り付き、電話の受話器もべたつき、パソコンからは絶えず熱風が吹き出し、イライラして作業効率落ち、結局残業が増えてエネルギー使用量が増える。原点に戻って考えます。冷房はもちろん、部屋の空気を冷やしているのですが、それだけならこんなにエネルギーは必要ありません。建物や家具が蓄熱しているため、空気が冷えても、また建物や家具から熱が出てくるからなんです。

先達は凄いです。日本には、大昔から葦簾・簾という物があります。朝日が出る前に葦簾・簾をしておけば、窓から日差しが入りません。従って家の内には蓄熱されません。もちろん、屋根や外壁にも葦簾をかければ、殆ど蓄熱しない事になります。夏に事務局を最初に開ける人、灼熱地獄を体験していると思います。もし、事務局の部屋にも葦簾や簾があれば、朝氣持ちよくスタートできるのに。

四階会議室のエアコンも老朽化して、新しい物に変えれば、電気代は半分ですよ！これは事実です。でも、ちょっと待った！

四階の会議室にサンシェードを付ければ、蓄熱されにくくなる。これで、窓からの熱の侵入は殆ど防ぐ事が出来ます。でも、四階会議室の問題は、屋上自体が蓄熱している事。だから、屋上も遮熱しちゃいましょう。遮熱塗料や遮熱シートなんて、単純な物じゃなくて、発電するとか、光合成するとか、付加価値の高い奴があるじゃない。どうせやるなら風力発電も。夜は、同友会の看板を照らし、日中は、雨水の散水だけに使います。

ところで、そんなお金どこから出ますの。だから、工夫しようよ。三重同友会を全国一の環境先進の同友会にするために五万円出資してくれる人この指止まれ！。私は、百人以上の会員さんが賛同してくれと思います。俺が百万出すという人が居てもそれは駄目、みんなの同友会だから、痛みもみんなの物、名誉もみんなの物。さて、本当の工夫はこれから。同友

小黒硝子店装（株） 小黒正博

会が、エネルギー問題に風穴を開ける事と思います。今のご時世がら、雨水タンクも設置して、断水してもトイレが使える賃貸ビルなんて、・・・

出資金の償還ですが、ここでもうひとつ工夫しようよ。五万円を二十年で割っても二千五百円です。それなら、年に一回、あなた達の五万円のお陰で、こんな変化が起きましたという報告会にしましょう。これが国家規模の変化のきっかけになったなんて話になつたら痛快じゃないですか。

大和の国の始まり、伊勢の国の同友会から日本を変えるなんて、ちょっと燃えない？

先日初対面で、熱く指導頂いた先輩の言葉に感動して、「どんだけ失敗しても命までは取られない」「どんなもんでもオレが作ってやるからもってこい！」古希を過ぎた先達からこんな言葉を聞いて燃えずにいられますか？先輩方が苦勞して続けて頂いた活動が、ここで本当の目的に近づきつつあります。地震で、日本人の大和魂が目を通したように、このプロジェクトを通して、同友会が日本を救うくらいの意気込みを見せようぜ！念いは通じます。

各支部例会・総会のご案内

桑名支部総会

テーマ『次の時代に向けての
経営計画はありますか?』

~自社の経営を見直して
新しい一歩を踏み出そう!~

日時 平成23年5月10日(火)
18:00~21:00

会場 桑名中央公民館

報告者 石川裕史氏
(有)IMC経営センター
代表取締役

北勢支部総会

テーマ『同友会への遺言』
~会から得た会社の強みの創り方~

日時 平成23年5月18日(水)
18:00~21:00

会場 ロワジュールホテル四日市

報告者 前田光久氏
旭電気(株) 代表取締役

中勢支部総会

テーマ『社員に生きがいを与えた
日本一の知恵工場』
~ベテラン社員の、知恵を引き出す~

日時 平成23年5月25日(水)
18:45~21:00

会場 松阪フレックスホテル

講師 松岡 浩氏
(株)タニサケ 取締役会長

参加費 無料
(但し、懇親会費6,000円)

伊賀支部総会

テーマ『震災を経て、不測の事態に
企業はどう対応するか』

日時 平成23年5月24日(火)
18:30~21:00

会場 伊賀路

参加費 1,000円

南勢支部5月例会

テーマ『今の松風軒の在り方と
これから進む道』

~なぜ“うなぎのなんけ”を
松阪にオープン!?~

日時 平成23年5月24日(火)
19:00~21:00

会場 いせトピア 研修室1

報告者 南家 剛氏
松風軒 代表者

尾鷲・熊野グループ5月例会

テーマ『未定』

日時 未定
会場 未定

(詳細が決まり次第ご連絡いたします)

第1回理事会まとめ

平成23年度理事役割分担

(敬称略)

代表理事	服部一彌
副代表理事	天白拓治 西村信博 平松俊範
相談役	高橋義弘 橋本正敏 前田光久 宮崎由至
総務委員長 総務委員	水谷彰宏 市川さつき 下津浩嗣 杉山 保
経営者の共育ち委員長 経営労務委員長 共同求人研究委員長 社員教育委員長 企業リスク研究委員長 企業リスク研究副委員長 共同事業創造委員長 ITNet研究委員長 農林水産部会担当理事	門井恵介 野瀬岩朗 西村信博 森川謙作 市田淳一 南川 勤 佐野明郎 三井義則 下津浩嗣
桑名支部長 北勢支部長 中勢支部長 伊賀支部長 南勢支部長	水越多加夫 門井恵介 藤川勝彦 味岡康弘 安藤茂樹
事務局長	成川総一

ビデオプロジェクターを貸し出します

～研修や展示会などプレゼンテーションに活用を～



プロジェクターは今までのパソコン・ビデオからの投影と併せてOHPとしてもご利用頂けます。

【貸し出し要綱】

貸し出し料金 1泊2日 5,000円。
但し、事務局まで取りに来て頂ける方。または事務局が届けられることが可能な方であること。
他団体での使用の場合は、一般の貸し物企業に準じた料金を頂きます(25,000円)
貸し出しの際の故障や破損等修理が必要になった時は負担をお願いします。

採用に役立つ事業のご案内

● 業務適性診断テスト

● 業務適性診断テストは、求職者の外面に現れる性格と内面の性格を見るものです。
● 検査結果からはどのような仕事に向いているかがわかり、特に採用時に面接だけではわかりにくい点を判断する材料として最適です。

● 検査料 1人 1,400円(用紙、検査料)
● (共同求人研究会参加者は、1,000円)

● 知的能力診断テスト

● 知的能力診断テストでは検査の結果から言語理解力や推理力、表現力といった事がわかります。求職者の持っている能力や資質を判断するのに最適です。

● 検査料 1人 1,200円(用紙、検査料)
● (共同求人研究会参加者は、800円)

● 詳しくは、同友会事務局までお問い合わせ下さい。 TEL 059(351)3310